

# 別府市公共交通活性化協議会 議事録

日 時：令和元年6月27日（14：00～15：00）

場 所：レセプションホール

## ◆意見要旨

### 開会

事務局：16名の出席により、規約を満たしている。

会 長：令和元年度から令和2年度までの副会長・監査委員の指名

（副会長） 大分大学 大井尚志委員

（監査委員）大分県土木事務所 姫嶋啓始委員

別府商工会議所 倉原浩志委員

## 1 議題

### (1) 平成30年度 事業報告について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）以下のとおり

会 長：公共交通マップ、スマート時刻表の評判は？

委 員 ①：マップは細い道も書いているのでとても便利。時刻表は好評だが1日に何百枚も出るため、あつという間になくなった。かなりの枚数が必要。

（協議結果）原案のとおり承認

### (2) 平成30年度 歳入歳出決算について

（事務局説明）説明内容省略

（監査委員）監査報告

（質議応答）質疑なし

（協議結果）原案のとおり承認

### (3) 令和元年度 事業計画（案）について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）以下のとおり

事務局：配布している新聞記事は県と大分市の協定及び自動運転の実証実験についてですが、別府市の課題としても将来を見据えた本市の公共交通のあり方について、人口減少、小中高齢化、交通事業者の運転士不足を見据えたITを活用した最先端のモビリティも検討していく必要があり、国の補助制度や推進する企業・団体との連携を図る。

また、喫緊の課題として交通不便地域の課題について、会長・副会長・関係者の御意見を伺いながら進めたい。

委員②：6月の議会でも質問があったが、市街地での交通不便地域がクローズアップされている。予想以上の高齢化もあり、市の執行部としても喫緊の課題としている。先進的な取組も含め、本当に時間がない状況であるため、大井先生や運輸局と意見交換しながら、場合によっては分科会の設置も認められているので、分科会で深堀させていただき、方向性を導きだしていきたい。

副会長：新聞記事の件については両方とも自分が関係しているが、自動運転については、国交省の事業が採択されなかったが、経産省事業で採択され、大分市の予算で行なう予定。

また、大分県東部圏の計画が今年度検討予定となっている。別府市も国大線やエアライナーなど関係してくるため、情報提供していきたいと思っている。

委員③：交通不便地域解消について、東山地区については本格運行になり住民に喜んでもらえている状況。今後の事だが、バスもタクシーも運転士不足であり、ラグビーワールドカップもあり観光需要も増えている状況で、どのようにして人を確保してイベントや町の発展に協力していくか考えている。時間的ゆとりを持って十分にお互い相談しながら進めていきたい。

また、運行・運営など色々な面についてもタクシー会社だけでは手に余る為、行政や地域の方に理解・協力いただきたい。

これから免許の返納者がかなり増えることが予想されるため、それを見据えた制度設計についても検討していただきたい。

委員④：県では運転士不足対策として、バス事業者に対してだが、免許の取得や広報についての補助を検討しており、現在予算要求をしている状況。

委員⑤：事業者の考えとして、以前は路線権の問題があったが、これから先、バスの乗務員が極端に増えていく事はない。その中で事業を続けるために、どうして行くか。

タクシー業にも変わっていただく必要もある。タクシーを共存出来るライドシェアについても考えていかなければいけない。専門の運転手は増えないので素人の協力も仰がないと解決しない。そういうことも視野にいれながら検討していただきたい。

(協議結果) 原案のとおり承認

#### (4) 令和元年度 歳入歳出予算(案)について

(事務局説明) 説明内容省略

(質議応答) なし

(協議結果) 原案のとおり承認

#### (5) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

(事務局長説明) 説明内容省略

(質議応答) 以下のとおり

委員⑥：目標値の0.3%向上の根拠については。

事務局：本計画については年々利用者が減少していく中、何とかしてその利用者数を向上させるものであり、0.3%に根拠はないが少しでも向上させていくことを目標にこの数値としている。

委員⑥：その数値についてもまた協議会で検討していただければと思う。

(協議結果) 原案のとおり承認

## 2 その他

委員⑦：おでかけ公共交通マップの英語標記について、統一していこうとしている状況であり、このマップの英語標記について若干統一の内容と違う部分があるので今後一緒に考えていただければと思う。

委員①：アナウンスとローマ字が同じ方が良いと思っているがそう統一されているのか。

委員⑦：案内板とローマ字が同じ方が良いとの方向で検討されている。

委員⑧：英語標記の変更について、車内の音声合成などを変えらるとかなりの費用がかかってくる。英語標記の境が難しくなるバス停が色々出てくるため、事業者としてはバス停名の日本語読みで統一している。今後、国や県の指針でこういった内容でしていくのか情報をいただけたら協議していきたいと思う。

閉会